

事業名 CD	01030101060	地域福祉計画策定事業
細分化した事業名		地域福祉計画策定事業
事業担当課室 CD	200300	福祉課
		整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第 6 次長期総合計画での目的体系	大項目	誰もが安心して暮らせるまちづくり	
	中項目	地域の絆を深める福祉社会の実現	
	小項目	地域福祉体制の確立	
関連する個別計画等	障害者ふれあい計画・次世代育成支援行動計画	根拠条例等	社会福祉法
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	本市の福祉行政全体の方向性や共通理念を示す。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	平成 17 年度から平成 26 年度までの地域福祉計画策定時、中間年度の平成 21 年度に見直しを行うこととしており、平成 22 年度から 26 年度までの後期に向けて、変化している社会情勢に対応した計画に見直しを実施する。
これまでの改善経過	平成 16 年度に計画策定。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 ■委託 □補助金 □その他(□) 平成 20 年度に策定した「高齢者福祉計画・介護保険事業計画(第 4 期)」、21 年度に策定する「障害者ふれあい計画」、「次世代育成支援行動計画」との整合性を図り、コンサルタント業者の支援を受け、地域福祉計画策定懇話会で審議を重ねながら後期の地域福祉計画を策定する。
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	平成 26 年度を見据えた韮崎市の高齢者福祉・障がい者福祉・子育て支援を含めた福祉全体の方向を示す計画を策定し、実行することにより、福祉全体の充実を図る。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19 年度	20 年度	21 年度
A	事業費 (千円)			2,241
財源内訳	国庫支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			2,241
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)			0.07
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	0		478
D	総事業費(A+C) (千円)	0	0	2,719
*参考	H21)市民1人当りの事業コスト	85 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注 1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注 2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19 年度(6,901 千円)、20 年度(6,909 千円)、21 年度(6,823 千円)を使用しています。
 注 3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分かりやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	策定懇話会開催回数	計画策定までの懇話会開催回数			4
成果指標	ダイジェスト版による広報率	配布件数/市内世帯数			広報配布世帯に全件配布したため100%
	懇話会開催率	計画策定までの懇話会開催回数/予定開催数(4回/4回)			100%
効率指標					

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない コンサルタント業者に一部業務を委託し、策定懇話会で十分な審議を経て策定しており妥当である。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 長期総合計画及び福祉3計画との整合性も図られた計画を策定できた。また、ダイジェスト版も全戸配付できた。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 計画書印刷をコンサルと分けたり、ダイジェスト版を職員が印刷機で印刷したこともあり、低コストで実施できた。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 次回は、平成 26 年度に新計画を策定する。	(2) 23 年度	(3) 22 年度
	21 年度の改善計画		
21 年度の改善結果			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 関係各方面からの策定懇話会参加により、内容を審議していただく。			
課長所見	次世代行動計画や障害者計画の変更にあわせ、後期計画の見直しを行い、概ね成果はあった。		